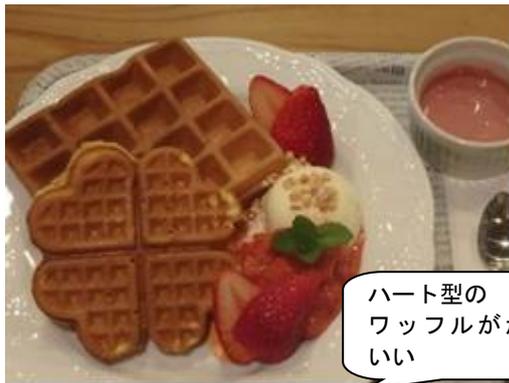


地方創生に結びつく地域活性化と少子化対策の取り組み報告

地域のプロジェクト名	恋人の聖地 鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山
申請者(役所・事業所名)	千葉県館山市(館山創生プロジェクトチーム『あすプロ』) 事務局：館山市総合政策部企画課
1. ご当地・施設の特徴	<p>千葉県最南部に位置する館山市は、東京都心からも近く、温暖で三方を海に囲まれた、自然豊かな「里海・里山」のまちです。</p> <p>特に、館山市街地に沿って広がる館山湾は、波が穏やかで鏡のように美しいことから「鏡ヶ浦」と呼ばれ、マリンスポーツが盛んに行われるなど、海と共に暮らすライフスタイルを提供しています。</p> <p>鏡ヶ浦からは、世界遺産である富士山を海越しに望むことができ、特に日が暮れていく「マジックアワー」には息をのむ絶景が広がります。</p> <p>カップルで、ご家族で、館山の魅力をのんびり・ゆったり味わってもらい、「住んでいるかのように何度でも訪れたい」、「このまちで暮らしたい」と思ってもらえるような館山のファン拡大を目指しています。</p>
2. 地方創生に結びつく活動テーマについて	<p>「恋人の聖地」を活用した各種取組を通じ、地域の事業者に対して新たなチャレンジを促すことによるビジネスチャンスの拡大や、新たな魅力の発掘等、シティプロモーションの充実による関係人口、定住人口の拡大に結び付けていきます。</p>
3. 具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・『館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金』を新たに創設。市内事業者を対象に、地域資源である「恋人の聖地 鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山」のイメージに沿った新商品や体験メニューの開発経費の一部を補助 ・「シェアしたくなる場所、集めました」をコンセプトに、館山市の若手職員が選んだおすすめを紹介するガイドブック「わたしだけの たてやまぶら散歩」(平成29年度発刊、平成30年度増刷)による館山の新たな魅力の紹介 ・館山のさまざまな魅力の再発見・発信を大きな目的とした「#わたしだけの館山 インスタグラムフォトコンテスト」の開催 ・「花のまち館山」をPRするため、華道家の假屋崎省吾先生を講師に招いた、イベント「恋華めぐり」の開催 ・恋人の聖地スポットの一つである城山公園(展望エリア)の恋人の聖地銘板の周囲に、ハートの形をした実がなるフウセンカズラの鉢を設置(フウセンカズラの実は、自由に持ち帰ることが可能) ・今年5月1日(大安)は、令和の幕開けに合わせて婚姻届を提出するカップルが増えると予想されたことから、平成27年度に作成した「オリジナル婚姻届」のデザインをあしらったメモリアルボードを作り、記念撮影スペースを設置したほか、同日に婚姻届を提出したカップルには、記念写真や館山市長からの「お祝いメッセージ」をプレゼント ・平成30年11月5日～8日に、「東京湾フェリーでいく、恋人の聖地を巡るサイクリングファミツアー」を開催し、台湾からサイクリング関係者を招待。地元ガイドとともに、市内や周辺地域を自転車で巡った(総距離51(恋)km) <p>※「恋人の聖地」に関する上記の各取組(フウセンカズラ、メモリアルボードは除く)について、国の地方創生推進交付金を活用して実施しました</p>

<p>4. 効果・地域の反響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金については、1ヶ月弱という短い募集期間にもかかわらず市内事業者から10件の応募があり、うち8件を採択。民間事業者により、市内の聖地スポットを巡る婚活ツアーやペアリング製作体験メニュー、オレンジの花言葉「花嫁の喜び」にちなみ、地元産品であるカレンデュラ（キンセンカ）を使用したハッピーオレンジドレッシングなどが開発されました。これら事業者の主体的な取組により、当市における「恋人の聖地」ブランドが行政主導の観光PRに留まらず、地域の稼ぐ手段に寄与する結果となりました。 ・ガイドブック「わたしだけの たてやまぶら散歩」については、配架した店舗、観光客双方から好評いただき、平成30年度に1万部を増刷し、再度配布しました。なお、増刷版については、ハッシュタグ「#たてやまぶら散歩」をつけて「あなただけのお気に入りの場所」を投稿してほしい旨の記載を追加し、手に取った人に館山のお気に入りスポットを紹介してもらいつつ、その人がどのようなところを巡っているのかが分かるような仕掛けを加えました。 ・「#わたしだけの館山 インスタグラムフォトコンテスト」については、ハッシュタグ（#わたしだけの館山）を付けて投稿するスタイルで、応募期間を約3ヶ月間設定したところ、800件を超える作品の応募がありました。審査については、館山市長、館山創生プロジェクトチーム、地元の写真好きな女性グループにより行い、計5作品を選定。受賞者に館山のレストラン食事券や前述の「支援事業補助金」で生まれたものを賞品として発送。受賞者からは、「今後も館山に来て魅力を発信したい」などの心強いコメントをいただきました。 ・「恋華めぐり」については、假屋崎省吾先生のトークや事前応募される方が假屋崎先生に生け花作品を講評いただく、壇上イベントを展開。地元館山の花々が壇上で使用されることで、「花のまち 館山」の効果的なPRを行うことができました。また、当日は、収容人数300人のホールに、その2倍を超える方の来場があり、賑わいを見せました。また、同時開催した子どもたちを対象にした生け花体験を、假屋崎先生が飛び入りで見学し直接アドバイス。地域の子どもたちが花にますます興味を持つきっかけとなりました。 ・城山公園のフウセンカズラについては、城山公園（展望エリア）にある、恋人の聖地銘板の周囲に鉢を設置することで、相乗効果による来訪者増加に繋がりました。 ・5月1日には、通常の大安や「いい夫婦の日」を大幅に上回るカップルが婚姻届を提出。メモリアルボード等の「おもてなし」により、新たな時代の門出の祝福ムードを演出することができました。 ※令和元年5月1日の婚姻届提出組数：17（通常は1～2組、多くて5組程度） ・「サイクリングファミツアー」では、館山市が誘致に力を入れている台湾からサイクリング関係者に参加いただき、南房総を満喫してもらうことができました。参加者からは「中国語での情報発信や道路・案内看板等の整備が必要」「灯台や神社、城、恋人の聖地等のコンテンツを活かしたストーリーが重要」といった意見をいただきました。 <p>⇒上記のように、恋人の聖地と地域資源を組み合わせ、多様な取組を実施することで、新たな人の流れや地域産業の活性化、館山を訪れた人の満足度向上といった仕掛けを作ることができました。</p>
<p>5. 連携・発展の方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金の継続実施 ・プロジェクトチームメンバーの入れ替えと、国（内閣府）の地方創生人材支援制度により派遣されている参与（凸版印刷）によるシティプロモーション戦略の立案実施 <p>⇒関係人口の増加を目指し、館山にしかない、館山でしかできない価値・魅力の発掘やPRを実施します。</p>
<p>6. 取り組み事例の広報・波及方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市ホームページや広報紙による市民への周知 ・SNSを活用したイベントの周知（特にフォトコンテスト） ・市の台湾人職員によるSNSでの情報発信（台湾向け：フォロワー多数）

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



ハート型のワッフルがかわいい

市内のカフェでは、新作スイーツを開発。ハートの焼き型を使った「恋する♥ワッフルセット」を新メニューとし、カップルで来店した方にはハートクッキーをプレゼントしています。
※館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金による事業展開



カップルで、楽しく製作体験

市内の彫金工房では、「ふたりでつくるオリジナルシルバーリング手作り体験」を開始。海辺の工房でゆったりとした時間を過ごしながら、世界に1組だけのペアリングを作るプログラムとして人気となっています。
※館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金による事業展開



地元産の食材にこだわり、おしゃれでおいしいジャムやドレッシングを開発されています

市内でジャムやドレッシングを製造・販売している工房では、オレンジの花言葉「花嫁の喜び」にちなみ、地元産品のカレンデュラ（キンセンカ）を使用したハッピーオレンジドレッシングを開発し、販売しています。
※館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金による事業展開



スイーツづくりや聖地めぐり、星空観察で参加者の距離が一気に縮まりました

市内の旅行会社では、3箇所の恋人の聖地スポットを巡る星空婚活ツアーを実施。男性17名・女性15名が参加し、12組のカップルが成立しました。
※館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金による事業展開



合言葉「#わたしだけの館山」を付けて応募！

「わたしだけの館山 みんなにおすそ分け」をコンセプトに実施したInstagramフォトコンテストでは、3ヶ月の応募期間中に800件を超える応募があり、館山の新たな魅力を伝える作品が多数寄せられました。



魅力あふれる作品の数々に、選考もひと苦勞

多くの応募作品の中から、5つの作品を選定し、レストランペアお食事券や「恋人の聖地」活用支援事業補助金により生まれた体験メニュー等を賞品として贈呈しました。



假屋崎先生の見事な生け花に魅了される



晴れた日には富士山も望める、人気の撮影スポット



恋人の聖地の親善大使でもある、華道家 假屋崎省吾先生を講師に招き、花のまちづくりイベントとして「恋華めぐり」を開催しました。当日は、多くの来場者で賑わい、事前応募された方が假屋崎省吾先生から、生け花の指導を受ける壇上イベントも行いました。

城山公園（展望エリア）にある、恋人の聖地銘板の周りに、ハートの形をした実がなるフウセンカズラの鉢を設置し、訪れた方が、実を自由にお持ち帰りいただくような取り組みを行いました。



あまり知られていないオススメスポットを網羅



新しい時代の幕開けに愛を誓うカップル

市内の隠れた魅力スポットやカフェなどを市の若手職員が選び、紹介したガイドブック「たてやまぶら散歩」は好評につき増刷を実施。「のんびり・ゆったり」をコンセプトに、館山の新たな魅力を紹介しています。

令和の幕開けに合わせて婚姻届を提出するカップルを祝福するため、オリジナル婚姻届のデザインをあしらったバックボードを準備し、記念写真や市長からのメッセージをプレゼントするなどの「おもてなし」を行いました。



恋人の聖地スポット「城山公園」で記念撮影

⑩洲崎燈塔（恋人聖地）

位於房總半島最西端的燈塔，1919年開始點燈。與對岸的三浦半島的御舟燈塔都是守護東京灣的燈塔，對進出東京灣的船舶安全擔任重要角色。天氣晴朗的時候，可以眺望富士山、伊豆大島、和三浦半島等。此外，燈塔周圍小雛菊盛開時，非常漂亮，別稱「小雛菊碑」。小雛菊花語是「戀愛占ト」、「真實的愛」等等。位於燈塔入口的森田商店販賣「小雛菊許願繪馬」，可以掛在燈塔的展望台欄杆上許願。



中国語版は、館山市の台湾人職員が監修

恋人の聖地スポットを中心に、市内や周辺の観光名所を巡るサイクリングファミツアーを実施。台湾の人たちに館山・南房総の魅力を満喫してもらうと同時に、今後の集客増に向けたアイデアをたくさんもらうことができました。

サイクリングファミツアー実施に当たっては、中国語のパンフレットを製作し、恋人の聖地スポットをはじめとするコース上の観光スポットなどをくまなく紹介し、参加者に伝えました。